

宮崎日日新聞「くらしの相談」（令和８年７月３０日）掲載

○ パーキンソン病のおそれのある夫の今後が不安。

【問】

高齢の夫が突然歩けなくなり、入院したが、パーキンソン病のおそれもあり、今後が不安だ。

【回答】

相談を受けた市町村在住の行政相談委員は、まず夫の介護認定が必要となるので、地区の地域包括支援センターに相談するよう勧めるとともに、パーキンソン病であれば症状により難病指定の可能性もあるので、専門の病院で診断してもらうことなどを教示しました。

その後、相談者から同センターと病院に相談したところ、夫が現在入院中のため、６か月経過後に介護認定の申請を行うことになりましたが、パーキンソン病については現在の症状では難病に指定できないとの診断結果の報告がありました。

また、相談者が今後に不安を抱えていたので、相談機能が充実した介護施設を情報提供した上で、相談してはと助言し、相談者が施設に相談した結果、入所に至ることになりました。